

夜の本町大にぎわい・夕鶴まつり

7月24日（土）、本町通り商店街を会場に「第19回夕鶴まつり」が開催され、多くの人出でにぎわいました。

このまつりは本町通り商店街振興会（玉井勇治会長）が主催し、今年で19年目を迎えます。

夕方から歩行者天国になった本町通りには、豪華賞品が当たる福引き抽選会やフリーマーケット、ビアガーデン、活イカ釣りなどたくさんの露店が立ち並び、どこの店も家族連れや子どもたちで溢れていました。また、通りの中央では、五ツ太鼓やよさこいソーランなどの演技が披露され、まつりを一段と盛り上げていました。



△五ツ太鼓では新曲も披露



7/30 カレンさん見送る職員たち



7/19 社協夏まつりでひなする幼稚園の園児たちが和太鼓演奏



8/2 第2回ことぶき大学で「誰でもできるスクエアダンス」を開催



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)



△まつりの恒例になった活イカ釣りに興じる子どもたち

若いエネルギーがはじける・鶴高ねぶた

7月16日（金）、鶴田高等学校（柳谷睦夫校長）では、鶴高祭の一環として、生徒や教職員など200人が参加して、手づくりのねぶたの運行と女子生徒によるよさこいソーランの踊りが披露されました。

今年で7年目を迎える鶴高ねぶたは、八木橋清志さん（田中町）の指導のもと1か月ほどかけて制作した人形ねぶたを、鶴高前からスタートして、駅前、本町、元町を通り、鶴遊館へと運行しました。

鶴遊館では、デイサービスを利用する皆さんの前で、ねぶた囃子とよさこい踊りの披露が行われ、この日を待ちわびていた利用者の皆さんは、若さあふれる鶴高ねぶたに惜しめない拍手を送っていました。



△ねぶたを制作した生徒たち



△利用者の皆さんに若さ溢れるよさこいソーランが披露される

夏の交通安全運動を展開

7月14日（水）、鶴田町国際交流会館ホールで「交通安全決起大会・交通マナーアップ鶴田」が行われ、町交通安全協議会や町交通安全母の会など29団体から約250人が参加し、交通安全の推進を誓い合いました。

決起大会では、中央保育所の園児たちによる鼓笛隊の演奏や県警音楽隊とカラーガード隊による演奏と演技が行われ、大会の最後に園児たちが、「はくたちわたしちは右を見て左を見て渡ります。前を見て後を見て渡ります」と元気に誓いの言葉を述べました。その後、県警音楽隊を先頭に、交通安全のメッセージが書かれたプラカードを持ち、参加者全員が町内をパレードして町民に交通安全を呼び掛けました。



①参加者による交通安全パレード ②中央保育所の園児たちによるかわいいカラーガード隊の演技と鼓笛隊の演奏 ③青森県警のカラーガード隊と音楽隊
④～⑥7月16日（金）、梅沢小学校では、自分たちが書いた交通安全の標語の入ったポケットティッシュをドライバーに配布して安全運転を呼び掛けました

先生方も健康づくり・学校保健会

7月28日（水）、農村環境改善センター「豊明館」多目的ホールで、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座のスタッフの指導のもと、鶴田町学校保健会（佐藤勝博会長）講習会が開かれ、管内に勤務する教員55人の健康チェックが行われました。

講習会のはじめに、弘前大学大学院医学研究科 中路重之教授から、生活習慣病は動脈硬化からはじまることや健診に対する正しい考え方などについての講話がありました。その後、先生方の体が最新の機械により、骨密度、血管年齢、体組成（筋肉や脂肪の量）などが次々にチェックされていきました。

先生方も健康第一ですね。



△弘大社会医学講座 中路重之教授



△骨密度を計測する機械 30秒ほどで結果が出る